



# 銀杏《愛校 自主自律》

～生徒一人一人が主役を果たす、「生徒が育つ学校」の創造～

宮内中学校 学校だより

## 生徒会行事の集大成 素敵な宮中祭となりました！

生徒会行事の集大成となる「宮中祭」が、11月6日（月）・7日（火）の2日に渡って行われました。初日の地域文化体験講座では13の講座を開設し、講師の先生方とのふれあいを満喫しながら、普段は経験できないことに楽しくチャレンジすることができました。また、2日目の合唱発表会は、限られた期間の中で練習した成果を存分に発揮し、それぞれの学級のカラーがにじみ出る歌声を響かせてくれました。今年から、コンクール形式ではなく発表会形式とし、“本気（マジ）”のスローガンにふさわしい姿を披露してくれました。閉祭式で、佐々木実行委員長がサプライズで提案した「Believe」の全校合唱も宮中生一人ひとりの心が1つになった素敵な企画となりました。

### 令和五年度 宮中祭「本気(マジ)」～合唱発表の一場面から～

1-1 明日の空へ



1-2 絆



サプライズ合唱 Believe



2-1 あさがお

合唱発表会



2-2 YELL

合唱発表会



2-3 旅立ちの時 ～Asian Dream Song～



3-1 郷愁歌

発表会



3-2 あなたへ

～旅立ちに寄せるメッセージ



3-3 糸



## 女子ソフトテニス部 県決勝大会でも激戦を繰り広げました・・・

11月11日(土)、県決勝大会が県内各地で行われ、県総合運動公園ではソフトテニスの決勝大会が行われました。地区新人大会そして県南ブロック大会と激戦を制覇してきた女子ソフトテニス部の皆さんも、大変寒い日でしたがとても熱い戦いを繰り広げてくれました。残念ながら、初戦突破は叶いませんでしたが、次への目標につなげる成果と課題をしっかりとつかんでくれました。また、南陽西部バレーボールクラブもクラブ枠で出場し、これまでの練習の成果を発揮してくれたようです。



### 大切にに使わせていただきます！

この度、(財)ダイエイト文化教育事業団様より、スポットクーラーと大型シュレッダーを寄贈いただきました。当日は、ダイエイト南陽店の店長 瀬谷晃広様、総務担当の菊池和夫様より、校長室にて目録を贈呈していただきました。

特にスポットクーラーは、今後の暑い時期、武道場や集会スペースでの教育活動の際、大変有効に活用できると考えています。さらに充実した活動が展開できると思います。誠にありがとうございました。

### 県防犯広報作品コンクール

#### 「最優秀」を受賞！！

2年佐藤雫さんの作品が、標記コンクールポスターの部で、見事「最優秀」に輝きました。

日頃の学びの成果であると思いますし、大変すばらしいポスターに仕上がっています。

大変おめでとうございます！



### 冬時間を迎えました・・・ 下校時刻(諸活動終了時刻)が変わりました・・・

熊野大社の大銀杏もだいぶ黄色に色づいてきました。雪の便りも聞かれるようにもなり、寒さも日に日に増してくる時期を迎えています。そんな中、本校では11月10日(金)より冬時間とし、漆山方面のスクールバス通学も始まりました。それに伴い、原則、平日の諸活動終了時刻が17:30、下校時刻が17:45となります。

日暮れも早く、暗い中を下校することになります。交通事故等には、十分に気を付けましょう。なお、平日の通学以外の自転車使用は当面続きますが、荒天や路面凍結等の危険回避判断をしっかりとお願いしたいと思います。

### 【校長の独り言・・・】

今年度から変えた、宮中祭合唱発表会。日に日にハーモニーが整い、更なる高みを目指そうとする良い雰囲気在校内に広がっていくのがわかりました。そうして迎えた合唱発表会当日。それぞれの学級の絆を歌声に載せ、ホール一杯に響かせてくれました。

歌の持つ力は無限です。誰のためにそして何のために歌うのかをしっかりと心に刻み、その心を仲間と重なり合わせることで、人を感動させる力が生み出されます。宮中生一人ひとりが、本気になって真剣に聴く人に感謝やエールの気持ちを伝えようとしたあの合唱は、私たちに大きな勇気と感動を与えてくれました。

特に三年生。君たちにはこれからの宮中生がさらに目標となるような合唱と新風を起こした体育祭で絆のすばらしさを見せてくれました。進取果敢はもちろんのこと、皆で頑張ることの大切さを、行動力・想像力をもって体現してくれました。君たちが卒業を迎え、この学校を去る日もそんなに遠くはありません。君たちが宮中を去っても、後輩たちがあの令和五年度の三年生を超える学年を、そして生徒会を創りたいと思える、そんな姿を見せ続けてくれました。

これからは、進路実現に向けた新たな挑戦の日々が続きます。君たちなら、きっと乗り越えていけると信じています・・・。

